



市男女共同参画推進委員会から意見書を提出

市男女共同参画推進委員会は、本市における男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の推進に関する総合的な施策および重要事項について調査・審議しています。委員会では、市が策定した計画に基づく平成29年度の各事業の実施報告を受けて、男女共同参画社会のさらなる推進に向けた審議を行い、市に対して意見書を提出しました。市では、この意見書をもとに、より一層の男女共同参画の推進に取り組んでいきます。



入選者の皆さん

中学生の部（敬称略）

最優秀賞	「全ての人が 自分らしく生きられる 男女共同参画社会」 伊丹 穂乃花（伊奈東中学校1年）
	「男子も女子も 自分らしく 明るい未来へ」 片庭 優月（伊奈中学校1年）
優秀賞	「自分らしさを大切に 男女共同世界を作ろう」 田上 椿姫（谷和原中学校1年）
	「私らしさ・あなたらしさを大切に 男女共に生活を」 酒井 梓（小絹中学校1年）



啓発キャンペーン

少しでも多くの市民の皆さんが、男女共同参画社会について理解し、実現のための協力を得られるよう、啓発キャンペーンを実施しました。市男女共同参画推進委員が、市民に「男女共同参画社会にご理解ご協力をお願いします」と呼びかけながら啓発物を手渡すと、足を止め、熱心に話を聞いてくれる方もいました。

男女共同参画標語を決定

親しみやすいイメージがもてる作品を募集したところ、多くの応募があり、審査の結果、今年度の最優秀・優秀作品を決定しました。

中学生の部で最優秀賞に選ばれた伊丹穂乃花さんは「受賞はうれしいです。私も将来色々な分野で活躍できたらいいと思います」と笑顔で話してくれました。また、高校生・一般の部で最優秀賞に選ばれた小関一矢さんは「最優秀賞受賞は驚きました。男女が明るく活躍できる社会になればと思います」と期待を込めて話してくれました。

なお、今年度の応募総数は604点でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

高校生・一般の部（敬称略）

最優秀賞	「創ろうよ 男女が輝く 明るい未来」 小関 一矢（伊奈高等学校1年）
優秀賞	「男女の協力大切に 自分の個性も大切に」 和田 ころ（伊奈高等学校1年）

全ての人が自分らしく生きられる 男女共同参画

（平成30年度標語募集 中学生の部最優秀作品 伊丹 穂乃花さんの作品）

問 谷和原庁舎市民サポート課 ☎ 58 - 2111（内線3203）

男女共同参画社会とは、男女が互いに人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。「参画」という言葉は、聞きなれませんが、すでにあるものに加わる「参加」とは違い、政策や事業などの計画段階から加わるという意味であり、男女が共に同じ立場、同じ目線で物事を決定し、取り組んでいこうという積極的な姿勢を表すものです。今回は、男女共同参画社会の実現に向けて、今年度行った主な取り組みをご紹介します。



中学生出前講座を実施

市では、中学生に「男女共同参画」の正しい知識を身につけてもらえるよう、出前講座を実施しています。講座では、生徒を取りまく環境や、進路、自分らしさなど、身近な話題を事例に説明を行いました。

ある男子生徒は、「前から自分は『男らしい』『女らしい』という言葉がおかしいと思っていた。自分も以前『なんで男なのに力がないの』と言われたことがあり、『そんなのそれぞれだ』と思ったことがある。今回の話を聞いて改めて男だから、女だからという考えはなくしていいんだと思った」と率直な感想を伝えてくれました。また、『『らしい、らしくない』なんて気にせず『これが私なんだ、これがあなたなんだ』と自分たちの個性を大切に生活していきたい』と前向きな感想を寄せてくれた女子生徒もいました。



父と子の料理教室

立浪部屋協力のもと、「どすこい！クッキング！～パパといっしょにクッキング～」を開催しました。当日は、小学生とその父親12組26人が参加し、力士3人に指導してもらいながら、立浪部屋特製「鶏のつくね入りちゃんこ鍋」づくりに挑戦。家庭における父親の子育て参画促進をはかるとともに、ワーク・ライフ・バランスについて考えるきっかけづくりとなりました。

参加者からは「この経験を踏まえて、私自身も男女共同参画社会の実現に向けた行動ができるようにしていきたい」「まだまだ妻の方が台所に立つことが多いので、少しでもその割合を減らしたい」といった決意が寄せられました。